

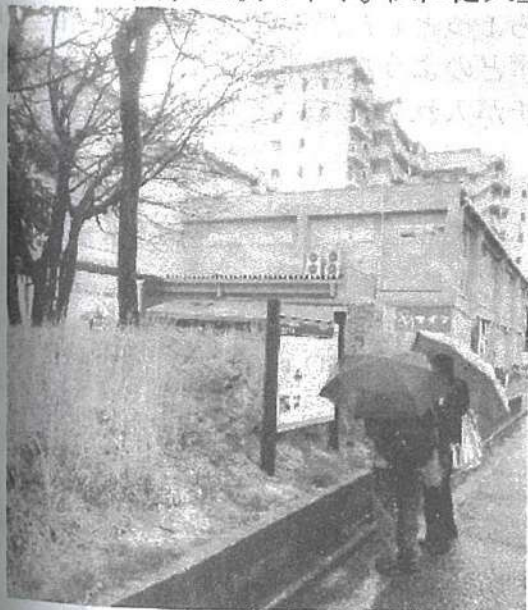
世界遺産・百舌鳥古墳群特別公開に参加して 3月23日

杉浦 喜代一

大阪平野の古い国名で言うと和泉の国と河内の国にまたがる古墳の集積地域、百舌鳥古市古墳群が2019(r01)年7月にユネスコにより世界遺産に登録されました。堺市では世界遺産となった百舌鳥古墳群をより多くの人々に親しんでもらおうと古墳の特別公開を2021年から取り組んでいます。文化財情報に詳しい会員さんから3月23日(土)に特別公開が行われるので参加しては、との提案が2月の例会でありました。調べてみると事前申込が必要で、〆切が3月8日となっているため、ニュースでの募集では間に合わないことがわかりました。そこで参加者をメール配信で募りましたところ、福井さん、中東さん、ト田さんと私・杉浦の4名が応募、さっそく往復はがきで申込をしました。3名迄が一グループとして申し込みができるとのことでしたので、2グループで申込を行い、抽選結果を待ちました。堺市からの返信ハガキには二つのグループとも、“見事”に当選することが出来ました。

三国ヶ丘駅から鏡塚などを先に見学

23日はあいにくの雨だったのですが、この機会を逃すわけにはいかないと11時発の電車で城陽駅を出発。奈良駅から天王寺駅へ、阪和線に乗り換え。会場のグワシヨウ坊古墳・旗塚古墳を真っすぐ目指すのであれば、百舌鳥駅で下車すればいいのですが、一つ手前の三国ヶ丘駅で下車。伝仁徳天皇陵・大山古墳の大きさを歩いて実感すること、線路



鏡塚古墳

沿いに散在する陪塚の幾つかを事前に見ておくことも百舌鳥古墳群の広さや理解を深めるうえでは必要ではないかとの思いです。大山古墳の東側を、傘をさしながら駅前の国道310号を渡るとすぐに源右衛門山古墳(げんえもんやまこふん 径35m・高さ5.4mの円墳)が迎えてくれました。次に電柱の工事をしている車の脇を通り、塚廻古墳(つかまわりこふん 径35m・高さ4.5mの円墳)を見学。

これらの古墳はしっかりフェンスが巡らされていますが、線路を渡った鏡塚古墳(かがみづかこふん 径26m・高さ2.5mの円墳)はスーパーの駐車場の端にあり、説明板や石柱の表示はきちんとありますが、フェンスなどの柵は無く自由に墳丘に登れる状態になっています。本当に身近に古